

2020（令和2）年度  
相談支援センターあんず 事業報告書

はじめに

今年度においても、利用者の方々の加齢等による障がいの重度化、ご家族のご高齢化等による介護力低下の影響で、利用者の方々における将来的な不安増加の兆候が感じられた。こういった状況下にあるご家庭への対応として、今、利用者の方ご自身に出来る事を大切にしながら、いかにより自立した生活に近づけて差し上げられるか、そのためにご家族がご本人に対してどこまでの支援が出来、その頑張りを如何に福祉制度のご活用で支えて差し上げられるかを一緒に考える時間が多かった様に思う。

ところで、当事業所の利用者の方々の殆どは「あんずの家」の利用者であり、日頃より慣れ親しんだ方々である事も幸いし、ご本人、及び、ご家庭の変化等についてより細やかに気づけ、より早い対応をとれたのではないかと思う。また、「あんずの家」を利用しておられない外部の利用者の方々に関しては、定期的なモニタリング結果の他、ご本人やご家族、関係者から賜ったご連絡・ご報告を基に、支給量の範囲内での調整（→事業者の選定・変更とそれにまつわる交渉等）や福祉サービス利用についてのご説明を行う事により、諸問題の解決に繋がられたと思う。

また、介護保険サービスへの移行を控えた利用者の方の心理的不安等についても、関係機関・事業者からの助言等を参考にさせて頂きながら対応した。介護保険に絡んだいわゆる「65歳問題」は今後も頻出して来るであろう事に鑑み、現在関わらせて頂いているケースも含め、介護保険サービスへの移行事例についてしっかり理解し、学びを積んで備えておきたい。

今後も利用者の方々の変化に応じた臨機応変な利用計画の作成が求められるものと考えられる。引き続き、ご本人、ご家族の限りでなく、関係機関、サービス提供事業者等、様々な方面からの情報を整理・共有し、柔軟に利用計画を検討出来る体制を保持していきたい。また同時に、福山市総合支援協議会の相談支援事業者連絡会ブロック会議等の会合への参加、及び、関連する研修会への出席等により、相談支援専門員としてのスキルアップにも留意したい。

## 1. 実施件数

- ▶サービス等利用計画 18件
- ▶モニタリング及び評価 55件
- ▶サービス提供時モニタリング等加算 53件
- ▶日常生活に関する相談

- ・認定されている障害程度区分により、支給されるサービス量の範囲内での計画変更への対応（行政、該当サービス事業者）や更新手続きの支援、サービス等利用計画の作成についての相談に対応した。
- ・サービスの利用の仕方や手続きの進め方などの電話による相談に対応した。

## 2. 事業推進のための連携

福山市総合支援協議会相談支援連絡協議会に所属し、事例検討、情報交換に努めた。